

学習評価について（高等学校農業科）

観点別学習状況の評価の観点の整理

資質・能力の三つの柱に基づいた目標や内容の再整理を踏まえて、観点別学習状況の評価の観点については、小・中・高等学校の各教科等を通じて、「知識・技術」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点到整理されました。

<現行>

- 国語への関心・意欲・態度
- 話す・聞く能力
- 書く能力
- 読む能力
- 言語についての知識・理解

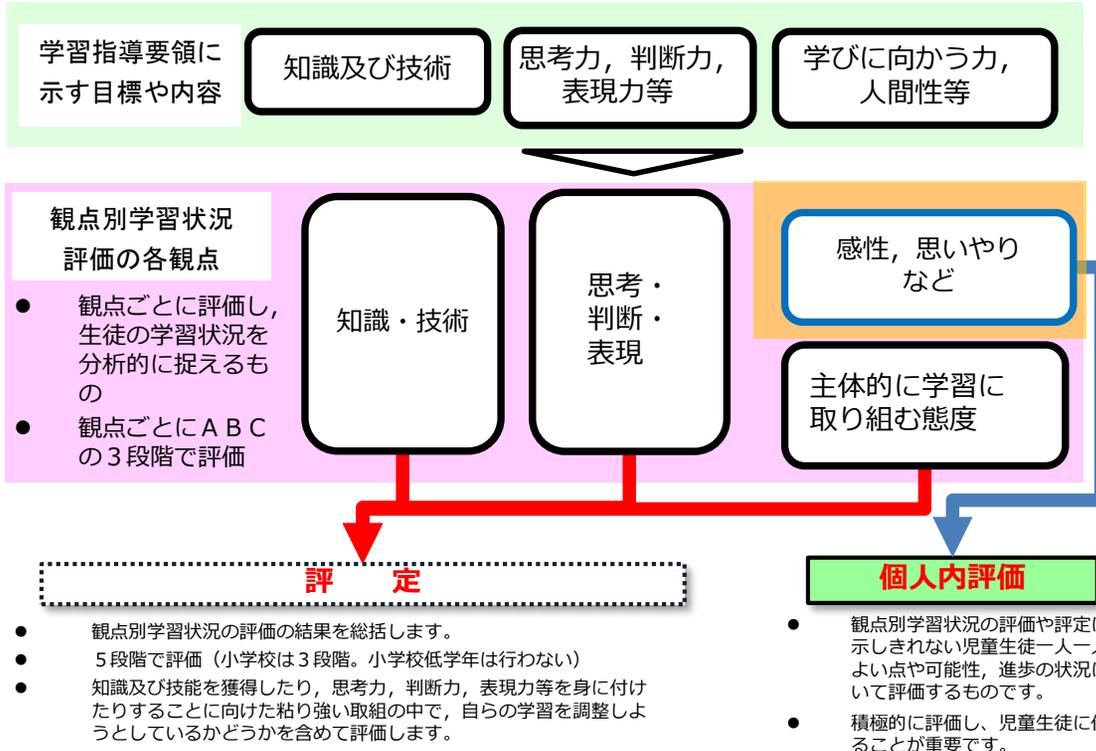
<新>

- 知識・技術
- 思考・判断・表現
- 主体的に学習に取り組む態度

現行の5観点で評価していた指導事項が3観点到再整理されました

学習評価の基本構造

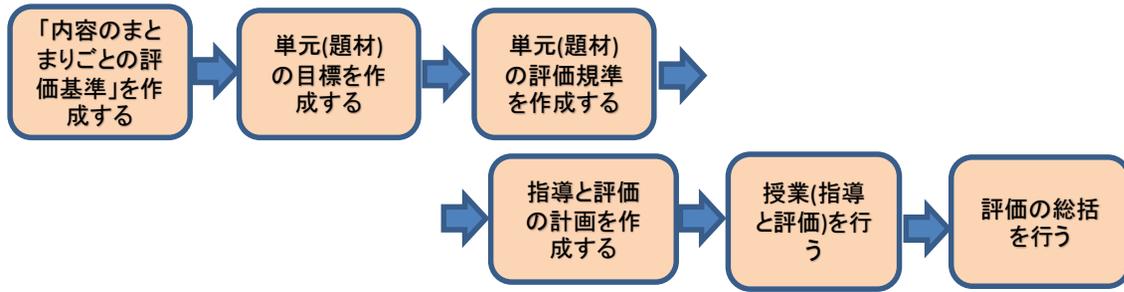
各教科における評価は、学習指導要領に示す各教科の目標や内容に照らして学習状況の評価するものです。（目標準拠評価）したがって、目標準拠評価は、集団内での相対的な位置付けを評価するいわゆる相対評価とは異なります。



評価の観点と趣旨

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>農業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに。関連する技術を身に付けている。</p>	<p>農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p>	<p>よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>
<p>当該単元で育成を目指す資質・能力に該当する[知識及び技術]の指導事項の文末を「～している」として作成します。育成したい資質・能力に照らして、指導事項の一部を用いて作成することもあります。</p>	<p>当該単元で育成を目指す資質・能力に該当する[思考力、判断力、表現力等]の指導事項の冒頭に、指導する一領域を「(領域名)において」と明記し、文末を「～している」として作成します。育成したい資質・能力に照らして、指導事項の一部を用いて作成することもあります。</p>	<p>以下の①から④の内容を全て含め、単元の目標や学習内容等に応じて、その組合せを工夫することが考えられます。</p> <p>①粘り強く積極的に、進んで、粘り強く等)</p> <p>②自らの学習の調整(学習の見通しをもって、学習課題に沿って、今までの学習を生かして等)</p> <p>③他の2観点において重点とする内容(特に、粘り強さを発揮してほしい内容)</p> <p>④当該単元の具体的な言語活動(自らの学習の調整が必要となる具体的な言語活動)</p>
<p>各学校においては、「[指導項目]ごとの評価基準」の考え方を踏まえて、各学校の実態を考慮し、単元の評価基準を作成する。</p>		

評価の進め方



指導と評価の計画 例

農業科 事例1 キーワード 指導と評価の計画から評価の総括まで「知識・技術」の評価	
単元名 トウモロコシの栽培	〔指導項目〕 (1)「農業と環境」とプロジェクト学習 (2)農業生産の基礎 (3)農業と環境のプロジェクト

単元の目標

- (1) ア 農業と環境に関するプロジェクト学習の意義、及び方法と進め方を理解すること
イ トウモロコシ栽培のプロジェクト学習を通して、作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について理解するとともに、関連する技術を身に付けること。
- (2) 作物の特性や育成を環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決すること。
- (3) ア プロジェクト学習に必要な情報収集と分析について、主体的かつ協働的に取り組むこと。
イ 作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。

単元の評価基準

知識・技術	思考・判断・表現	態度
ア 農業と環境に関するプロジェクト学習の意義、及び方法と進め方を理解している。 イ 作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	ア プロジェクト学習に必要な情報収集と分析について、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 イ 作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

指導と評価の計画 (トウモロコシの栽培: 35時間)

※「知識と技術」の評価の観点の一部抜粋

時間	指導事項	【ねらい】 ○学習活動	評価の観点 (授業の重点)	○学習事項等 ■評価方法
2・3	トウモロコシの一生と主な性質 プロジェクトの計画立案	【トウモロコシの一生と性質を理解し、栽培計画を立てる】 ○写真・生育表からトウモロコシの一生と主な性質を学び、ワークシートにまとめる ○プロジェクトの主テーマ=「生産計画に基づく良質なトウモロコシ栽培の実践」とし、収穫予定日から播種日を設定し、ワークシートから栽培管理を読み取り、計画表に記入する。	知識 技術①	□トウモロコシの一生、形態、種子の構造、栽培品種の特徴【知識】 ■ペーパーテスト □栽培計画の作成【技術】 ■提出物(計画表)
4・5	生産工程管理(GAP) 栽培計画 ・耕起 ・施肥 ・整地	【農業生産工程管理(GAP)について理解する】 映像やワークシートの活用によりGAPの考え方、実践方法の理解 【播種前に必要な準備を理解し、実践】 ○元肥に用いる肥料と肥料計算を学び、必要量を計算する。写真・スライド等で要点を確認後、各自の区画で作業を行う。	知識 技術②	□肥料の三要素種類とその主成分、施肥量の計算【知識】 ■ペーパーテスト □耕起、施肥、整地実技【技術】 ■パフォーマンステスト
6・7	栽培管理 ・うね立て ・マルチング ・ 毎時間の授業ですべての観点について評価することは困難であるため、評価する場面を精選する必要があります。	【播種の方法について理解し、実践する】 ○うねを立て、マルチシートを張り、播種を行う(マルチ張りの作業は隣と協力)	知識 技術③	□うね幅・高さ・条間・マルチの種類を効果【知識】 ■ペーパーテスト □うね立て、播種実技【技術】 ■パフォーマンステスト
10・11	・間引き ・補植	【間引きの目的を理解し、実践する】 ○ワークシートと写真を活用して間引きの対象と方法を理解し、間引きする。欠損する株を補植する。	知識 技術④	□間引きの目的、方法【知識】 ■ペーパーテスト □間引きの苗の選択、間引きの実技【技術】 ■パフォーマンステスト
14・15	栽培管理 ・マルチの除去 ・中耕 ・土寄せ	【追肥の目的と時期を理解し、的確な施肥を実践する】 ○追肥の基礎知識を学び、肥料計算を行う。マルチを除去し、根域を確認した上で追肥・土寄せを実施	知識 技術⑤	□追肥・土寄せの目的、時期と方法、肥料計算【知識】 ■ペーパーテスト □施肥、土寄せ【技術】 ■パフォーマンステスト

観点別学習状況の評価の進め方【知識・技術】

- ・指導計画において知識と技術について明示し、生徒が「おおむね満足できる」状況(B)に達しているか、評価のポイントを明確にした上で評価する必要があります。

この授業例における評価の総括については
第3編p.48~を参照